

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いろは2児童通所支援（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	R 7年 12月 15日		～ R 8年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	R 7年 12月 15日		～ R 8年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R 8年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
2	活動スペースの構造化とプログラムの内容	構造化により、個別の療育（学習・作業療法・脳バランス・マッチング他）や全体療育（小集団におけるプログラムやグループワーク）を準備し、分かり易い空間の中で、いろんな経験が積めるよう取組んでいます。	一人ひとりの出来るに着目し、活動の幅が広がるような役割作りや場面の想定を考えながら充実した活動になるよう取組んでいます。
1	職員の多さと多様性	加配を取りながら利用人数に対して、余裕のある職員配置をしています。より個別の支援が可能になり、事故やトラブルにもすくに対処できるように努めています。	いろは2としての支援を統一していくために、どの職員でも同じ支援ができるよう、施設内研修や情報共有を強化していきます。
3	SNSの使用等による、コミュニケーションツールの使用	元々は災害時の連絡用としてご登録いただいたものですが、電話や口頭が難しい時でも連絡を取り合えるコミュニケーションツールとして有効活用出来るようにしています。	安全に活用していけるよう、注意を払いながら運用していきたいと思っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会が少ない。	活動の時間的に難しいこともあり、地域の方と交流する機会がなかなか持てておりません。	保護者の方の要望などを伺いながら、必要とされている交流の方法などを検討していきます。
2	保護者同士の交流の機会が少ない。	保護者会の開催頻度が年に一度であり、日程が合わずに参加が難しい方も少なくない事が原因と考えられます。	保護者の方々のニーズに応じた開催方法を検討していきながら、参加人数が増えていくよう改善していきます。
3	事業所の立地や構造	構造上、死角になりやすいスペースがあったり、事業所前が車通りの多い大きな道路に面しているため、注意が必要です。	死角にならないよう、遊びのスペースを制限したり、全体が見渡せる場所に必ず職員を配置しております。また、送迎時や事業所の出入り際には細心の注意を払いながら、扉の開ける方向や全職員へ確認事項の周知を徹底していきます。